

ホームページのほかにも市公式フェイスブックや市公式LINE(2月15日現在、友だち登録者1万9336人のLINE VROOMでもまちの出来事を紹介しています。

1/7-10 名寄・風連消防団出初式



7日に名寄消防署風連出張所前、10日に市民文化センター駐車場にてそれぞれ消防団出初式が開催。風連では50人、名寄では79人の消防団員が集結し、分列行進の披露など行いました。

出初式は、現在の消防力を公開し火災予防意識の向上が目的

1/5 2022市民新年交礼会



市内ホテルで開催され、各関係団体長などおよそ150人が出席。加藤市長は「市民の皆さまの知恵と力をお借りし、名寄をより良いまちへとなるよう努める」と述べました。

会の始まりに、名寄駐屯地隊員による朔北大鼓が演奏されました

1/23 市民スキーの日



名寄ピヤシリスキー場で開催。多くの方が参加し賑わいました。スノーマラソンのほか、リフトが無料開放され、各種スキー・スノボの講習会や歩くスキー教室など行われ、盛りだくさんのイベントに。

例年3月に実施していた本イベントは、今年は1月に開催

1/22 名寄市男女共同参画セミナー 佐藤麻美さん講演会



よる一なを会場に、フリーアナウンサーの佐藤麻美さんを招き、講演会と意見交換会の2部構成のセミナーを開催。自分らしく楽しく生きるためのヒントが数多く示されました。

講演会には46人が、意見交換会には13人が参加

2/6 JICA(国際交流機構) 留学生交流プログラム



naniro BASE&Lab.でアフリカ地域やアジア地域の留学生とのオンライン交流会が開催。市内高校生を中心に十数人の方が参加し、お互いの国や地域、文化を知る良い機会となりました。

主催は独立行政法人国際協力機構(JICA)

2/2 東中学校でふるさと未来トーク



今回は市長・教育長と生徒会代表6人による直接懇談、他1年生95人と2年生67人はリモート参加での実施となり、事前アンケート結果やまとめによる今後の要望を加藤市長に提案しました。

ふるさと未来トークは、児童・生徒が市長・教育長と懇談するもの

12/6 講演会「立地適正化計画を具体化させるまちづくり」



よる一なを会場に北海道大学の森傑教授を迎えて講演会が行われ、およそ70人が参加。公共施設の配置についてやウォーカーブルシティの考え方についてなどを解説しました。

実際の自治体の事例を交えながら丁寧で分かりやすい説明

12/21 名寄ピヤシリジャンプ大会 兼北海道新聞社ジャンプ大会



ピヤシリジャンツェで開催され、全国各地から計141人のジャンパーが集結。選手たちは、力強い風切り音や着地音を響かせながら、練習の成果をいかに発揮していました。

男子105人、女子36人がエントリー

12/1 名寄市こどもの遊び場「にこにこらんど」がオープン



株式会社西條名寄店2階に整備された「にこにこらんど」がオープン。多くの親子が来場し、たくさん遊び道具を目にして、保護者の手を引きながら楽しそうに駆け回っていました。

笑顔あふれる場所になってほしいという願いを込めて命名

12/11 名寄市立大学吹奏楽団 第12回定期演奏会



EN-RAYホールで開催され、多くの市民の方が足を運びました。「さくらのうた」などの吹奏楽定番曲やよく耳にするポップスなどが演奏され、力強さとメリハリのある表現で、観客たちを魅了。

51人の団員たちはいままで練習してきた成果を存分に発揮

1/8~9 令和3年・令和4年名寄市成人式

8日に令和3年名寄市成人式が、9日に令和4年名寄市成人式がEN-RAYホールでそれぞれ執り行われ、8日には120人、9日は159人の新成人が式に参加。新成人を代表して、令和3年成人式では坪田潤生さんが「これからは支える側の人間として挑戦しつづけます」と、令和4年成人式では佐藤杏一さんが「周りの方に感謝を忘れず、1日1日を大切にします」とあいさつし、新成人としての決意を述べました。新成人たちは、久しぶりに再開した友人たちと会話をかわしたり、フォトブースで記念写真の撮影を行い、成人式を存分に楽しんでいるようでした。



式では恩師からのビデオメッセージや大抽選会も行われました

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。